

# 第42回 一日舞踊大学講座2024 ダンスと教育

現代舞踊協会研究会西部では、未来の文化を担う次世代の若者に視点を寄せます



助成:文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(次代の文化を創造する新進芸術家育成事業))  
独立行政法人日本芸術文化振興会

# 2024.3/2 [土]

9時50分～17時00分

◎ワークショップ

◎座談会

◎受講生によるデモンストレーション

会場:スタジオF 豊島区日白2-12-4

# 自分 を 踊 る

私は言葉を喋るのが苦手だったので、踊りを始めました。自分の中の言葉にできない何かを踊り通すことで自分を解放することができました。その結果、日本、ニューヨーク、そしてフランスに住居し、現在はフランスの文化大臣から国立の劇場を任せられました。自分を見つけるために、人間は色々なことをします。私の場合は家族や周りの人たちが応援してくれたおかげで、5歳でそれが見付き、今に至っております。皆さんも自分を見つける踊りを探してみませんか?このワークショップでは、私が世界各国で学んだテクニックを通して、踊る技術がなくても、参加者の個性や意志を生かして一人一人の身体、一人一人の踊り、そしてそれがあからこそ、他人と分かち合える踊りを探っていきたいと思います。自分しかできない踊り、身体性を一緒に探しにいきましょう。踊りを通して、自分と自分のかげ橋、そして自分と相手のかげ橋を作っていけると、現在の人と人とのコミュニケーションが失われつつある世界で、生き延びていけるかもしれません。 伊藤郁女

踊りを通して、人とのかけ橋を作っていける自分を見つける踊りを、一緒に探していきたいと思います

一人ひとりの身体、一人ひとりの踊り、そしてそれがあからこそ他人と分かち合える踊りが生まれる

18歳の時に、新人ダンサー、振付家として、「榎本了壺賞」を受賞し、その後数々の賞を受賞、若くしてダンサーとして頭角を見せてきた伊藤郁女は、米国ニューヨークに留学するも、アメリカのダンス界は、彼女の求めるものではなく、ヨーロッパに渡る。ドゥクフレ、シェルカウイ、プラテルなどの世界の名だたる振付家の先鋭的な作品に出演し、ダンサーとして活躍、後に、振付家としてフランスを拠点に活動を行う。フランスで、振付家としての地位を獲得するのは、たやすいことではないと察するが、伊藤は、渡欧して、わずか10年程で、フランス政府から芸術文化勲章「シュヴァリエ」を受章し、自らのカンパニーを率いて、著名なバレエ団、オペラなどの振付も数多く手掛けるようになる。

彼女の作品は、自己を見つめ、人間への探究心から生まれる。ドメスティックな題材も、深い人間社会への洞察と鋭い感性がある故に、国を超え、人種を超えて、多くの人の共感を得、感動を呼ぶ。時には言葉を発したり、ユーモアを交えながらも、ダンスのポキャブラリーを超えた身体表現によって、人間の心の深いところをえぐっていく。自由奔放でありながら、知性を伴い、混沌と秩序が同居している。社会に開かれている眼が、作品に重さを与え、彼女の中の〈生きること=アート〉へのパッションが、作品を魅力あるものになっているのだろう。今後の彼女の創作活動に目が離せない。



### 伊藤郁女 いう・かおり

振付家・ダンサー。1979年生まれ。5歳よりクラシックバレエを始め、2000年にニューヨーク州立大学パーチェスカレッジへダンス留学後、立教大学で社会学と教育学を専攻。2003年～2005年に文化庁新進芸術家海外研修制度で渡米し、NYのアルビン・エイリー・ダンスシアターにて研鑽を積む。2003年にフィリップ・ドゥクフレ作品『Iris』の主役に抜擢。その後、ジェームス・ティエリやシディ・ラルビ・シェルカウイ、アラン・プラテルなど世界の名だたる振付家の作品に出演。拠点をフランスに移し、2015年に自らのカンパニー「HIME」立ち上げる。欧州の様々なバレエ団・サーカス学校・オペラ作品で振付を手掛けるほか、ダンスに捉われない多岐にわたる活動を行う。主な創作作品に、『私は言葉を信じないので踊る』『私を燃やして』『ロボット、私の永遠の愛』『Is it worth to save us?』『綾の鼓』『あなたへ』など。2015年SACDより新人優秀振付賞、フランス政府より芸術文化勲章「シュヴァリエ」を受賞。2022年第16回日本ダンスフォーラム賞大賞受賞。2023年1月よりストラスブール・グランテスト国立演劇センター「TJP」のディレクター（総芸術監督）就任。『さかさまの世界』『ワレモン』を創作。

2024. 3/2 [土]

9時50分～17時00分  
(9時20分より受付)

参加費：一般 4,500円 協会員 4,000円  
(税込) 学生 3,500円 (半日参加 3,000円)  
定員：40名 (定員になり次第締め切り)



会場：スタジオF  
豊島区目白2-12-4  
JR山手線「目白駅」より徒歩5分

10:00～13:00 ワークショップ

「自分を踊る」 講師：伊藤郁女

14:00～15:30 座談会

「作品を生み出す力  
～伊藤郁女の自己、そして人間への探究心」

パネラー：伊藤郁女 石井達朗 佐藤まいみ 加藤みや子

15:30～16:45 受講生によるデモンストレーション

主催：一般社団法人現代舞踊協会  
企画・制作：一般社団法人現代舞踊協会研究企画部  
芸術監督：加藤みや子 馬場ひかり 制作統括：藤井香 制作補佐：細川麻実子 横田恵 会計：堀和子

●申込方法

現代舞踊協会

検索

Webからのお申し込みは、現代舞踊協会ホームページ内「一日舞踊大学講座」の申込フォームより送信ください。

FAX 03-5457-7732

FAXからのお申し込みは、下記申込用紙に全項目を読みやすい文字で明記の上、左記FAX番号へ送信ください。

●申込締切 2月27日(火)

●お問い合わせ (一社) 現代舞踊協会事務局

〒150-0021 渋谷区恵比寿西1-21-3

グレイス代官山402号 TEL.03-5457-7731

## 一日舞踊大学講座申込書

\*ダンスプラン出演者の方は右に○をして下さい。

ダンスプラン出演者

フリガナ  
氏名

所属研究所/舞踊団

住所 〒

(○をお付け下さい)

一般/協会員/学生・高校生/半日参加

TEL

FAX

E-mail

\*携帯でも可ですが、諸連絡の都合上、できるだけパソコンのアドレスをご記入下さい。